

三田高校

TOMOKAKI

# ともかき

## 第27号

発行所/東京都立三田高等学校  
(青葉会・同窓会)  
港区三田1-4-46 3453-1991(代)

本校校長として赴任してまいりました揚村です。これから、青葉会の皆様と定時制教育を通じて親しく勉強し、ともに努力してまいります。

三田高校定時制は創立して70余年の伝統を掲げこれまで、幾多の変遷を経て他の都立高校を凌駕し、常に先導的な役割を果たしてきました。それは、学ぶ意欲に燃えた生徒とこれを真正面から受けて立つ教師の情熱によって培われてきたものです。しかし、学校は残念ながら平成19年度を持って閉校となります。これまでの方針や功績に対して感謝いたすと同時に、残された期間を今後、微力ながら本校発展のために全力で多くの課題に取り組み所存です。東京都は高校改革推進計画の中で学校経営の改革を基本方針としています。それは、同窓会を始め保護者・PTA等の教育参加にあります。私は学校は生徒が主



人公でありそれを導き援助する教員、教育に側面から支援、援助して頂く同窓会・PTAの方々の緊密な連携があつてこそ発展していくものと思えます。平成19年度に閉課程が決定しますが、最後まで活力を失わず生徒の夢や希望にこたえていく学校作りが大切だと考えます。そのためにも生徒の出席率を高め、生徒の進路実現のため学習の基礎・基本を生徒にしっかりと身につけさせ学校行事やクラブ活動等を通して逞しく豊かな人格形成を目指すように磨きあげたいと思います。両立を目指し生徒の育成に向け、教職員が一人丸となって生徒の自己実現にむけ努力してまいります。まだまだ課題も多く抱えてはいますが、少くも鋭意努力してまいります。青葉会員の皆様のご支援よろしくお願いします。

四月に着任しました教頭の矢島賢二と申します。前任校は明正高校で、閉校を経験しました。三田は、平成二十年三月に閉校すると伺っています。

さて、現在三田は、生徒数が四十八名、来年度の卒業生は十一名を予定しており、二十三区内の定時制高校のうち、一学級規模と限定すればほぼ標準的な大きさだと思えます。同窓会報を読まれる方は、在学中、仕事と勉強の両方で頑張られた



勤労青少年であったことでしょうか、現在の在学生のうち、かつてのような勤労青少年と考えられる生徒は、ごくわずかになっていきます。したがって学校としては、在学中に基礎基本を身につけさせ、卒業後に一職業人となれるよう、また、さらに進学して次のステップを踏むことが出来るようにするのが役割だと考えています。頑張ります。よろしくお願います。

本年4月から新しい校長先生と教頭先生が着任され、学校も新体制となりました。6月30日に授業参観の機会をいただき、卒業以来始めて授業を見させていただき、卒業生も少人数でアットホームな雰囲気が出た。親子以上の年齢差の新しい生が一緒に授業で生きた。

定時制課程は平成16年4月の入学が卒業する20年3月までが閉校となることになりました。これからの同窓会をどのような形にしていこうか、皆さんと共に考えていきたいと思っております。来年度は予定どおり11月に総会・懇親会を開催いたします。その際にご意見をお聞かせください。

今年の活動はともかきの発行だけでなく紙面を楽しんでいただくことにしました。今年はいくつかの会員の皆様のご近況、想い出を掲載し、会員だより欄を充実



させることになりました。ご無理なお願いもございましたがご協力いただき、大変ありがとうございました。

本年度の「青葉会総会・懇親会」は開催いたしません。  
来年度(平成16年)は開催いたします。